

令和2年7月28日
 四国電力株式会社

伊方発電所3号機 セメント固化装置補助蒸気配管の復旧について

第15回定期事業者検査中の伊方発電所3号機（定格電気出力89万キロワット）原子炉補助建屋2階（管理区域内）において、7月13日10時30分頃、セメント固化装置※へ補助蒸気を供給している配管の保温材から水が滴下していることを運転員が確認しました。

その後、水滴の原因を特定するため、11時17分に補助蒸気を隔離し、保温材を取り外して当該配管の表面を確認しましたが、当該配管からの漏えいは確認されませんでした。このため、保温材を取り外した状態で一時的に隔離を復旧して蒸気を通気したところ、14時20分、当該配管に微小な穴があることを保修員が確認しました。

漏れた水の量は約250cc（推定）であり、放射能は検出されませんでした。また、漏れた水は全量回収しました。

本事象による環境への放射能の影響はありませんでした。

（7月13日お知らせ済み）

その後、当該配管を取り替えたうえで、補助蒸気を通気して漏えいがないことを確認し、本日10時20分、通常状態に復旧しました。

引き続き、原因について詳細に調査します。

※：機器点検時の排水や洗濯排水等、管理区域内で発生した液体廃棄物を濃縮し、セメントと混ぜ、ドラム缶に詰めて固化する施設

